

研究機関と協力して調査研究を進めています

天王寺動物園では、大学等の研究機関と協力しながら、以下のような野生動物に関する様々な調査研究を進めています。

- ・遺伝子に関する研究
 - ・身体の構造に関する研究
 - ・繁殖に関する研究
 - ・感染症に関する研究
 - ・ストレスに関する研究
 - ・行動に関する研究
 - ・教育普及プログラム開発に関する研究
- など

これらの調査研究で成果を得て、動物や人、社会に還元していけるよう取り組んでいきます。

一緒に取り組みませんか？（研究者の皆様へ）

天王寺動物園では、野生動物保全の推進や飼育管理の改善、医療や公衆衛生の発展、社会教育等の向上など、幅広い分野での調査研究活動に積極的に貢献したいと考えています。そのため、数多くの研究機関と共同研究という形で連携を進めています。研究機関に属する研究者の方であれば、共同研究と位置付けていただいた上で研究計画等をご提示いただくことで、園内での調査への協力や研究検体の提供を、可能な範囲内で検討させていただきます。これまでに、非公開エリアでの行動調査協力や、飼育動物の血液、糞、尿、体毛、体組織といった様々な研究検体提供などを実施させていただいています。過去に飼育した動物の組織等も保管してあります。天王寺動物園で取り組みそうな調査研究計画をお持ちでしたら、遠慮なくお問い合わせください。なお、共同研究は、公益性の高い内容のものに限定させていただきます。

（担当：天王寺動物園 動物診療課）

お問合せ： d-shinryou@tennojizoo.or.jp